

費目別支出内容一覧表

議員名 塩満久雄

費目	調査研究費・研修費・会議費・資料費 広報費・事務所費・事務費・人件費	整理番号			
事業内容	固定電話使用料				
経費内訳	項目	金額(円)	充当額(円)	内容	
	4月	9,207	4,603	9,207 × 1/2	
	5月	6,826	3,413	6,826 × 1/2	
	6月	7,720	3,860	7,720 × 1/2	
	7月	6,496	3,248	6,496 × 1/2	
	8月	6,984	3,492	6,984 × 1/2	
	9月	6,531	3,265	6,531 × 1/2	
	10月	6,408	3,204	6,408 × 1/2	
	11月	6,650	3,325	6,650 × 1/2	
	12月	6,780	3,390	6,780 × 1/2	
	1月	6,701	3,350	6,701 × 1/2	
	2月	7,213	3,606	7,213 × 1/2	
	3月	6,487	3,243	6,487 × 1/2	
		《合計》	84,003	41,999	
	按分割合 積算根拠	政務活動(50%) 政務活動(50%) + その他の活動(50%)			月ごとに按分 (1円未満は捨てる)

- 注) 1 【全費目】注) 2を除く全ての費目の支出について、本一覧表を作成すること
報告に関しては、支出の種類(例: ガソリン、携帯電話代)ごとに1年分まとめて報告しても差し支えない
- 2 【調査研究費、研修費】公共交通機関利用料を支出した視察及び受講料(公共交通機関利用料を含む)を支出した研修については、別様式の「国内・海外視察、研修報告書」により報告すること
- 3 【広報費】広報紙は、経費内訳の内容欄に印刷・送付部数を記入すること
- 4 【事務所費】自己が所有する事務所に対する賃貸料は充当不可、事務所要件を満たさない場合は充当不可
- 5 【人件費】生計を一にする親族雇用は充当不可
- 6 領収書等は、別途「領収書等添付票」に添付すること

領収書等添付票

費目	事務費	整理番号	1-2
----	-----	------	-----

【領収書その他の書面の添付欄】

通常払込料金 振替払込請求書兼 加入者負担 受領証(金融機関控)	
口座番号	[REDACTED]
加入者名	NTTファイナンス株式会社
金額	9,207 円
お客様番号	4706-0118-65536
2021年 4月ご請求分	5月17日
ご請求先住所氏名 塩満久雄事務所 様	
1/2 4603	
金融機関用収納連絡先	TEL 0120-03-05-07 874-569 下関今浦郵便局
備考	(55015) N94260003

この受領証は、大切に保管してください。(金融機関・CVS店舗保管)

通常払込料金 振替払込請求書兼 加入者負担 受領証(金融機関控)	
口座番号	[REDACTED]
加入者名	NTTファイナンス株式会社
金額	6,826 円
お客様番号	4706-0118-65536
2021年 5月ご請求分	6月15日
ご請求先住所氏名 塩満久雄事務所 様	
1/2 3413	
金融機関用収納連絡先	TEL 0120-03-06-07 874-569 下関今浦郵便局
備考	(55129) N94130007

この受領証は、大切に保管してください。(金融機関・CVS店舗保管)

通常払込料金 振替払込請求書兼 加入者負担 受領証(金融機関控)	
口座番号	[REDACTED]
加入者名	NTTファイナンス株式会社
金額	7,720 円
お客様番号	4706-0118-65536
2021年 6月ご請求分	7月15日
ご請求先住所氏名 塩満久雄事務所 様	
1/2 3860	
金融機関用収納連絡先	TEL 0120-03-07-06 874-569 下関本町郵便局
備考	(55253) N94190003

この受領証は、大切に保管してください。(金融機関・CVS店舗保管)

通常払込料金 振替払込請求書兼 加入者負担 受領証(金融機関控)	
口座番号	[REDACTED]
加入者名	NTTファイナンス株式会社
金額	6,496 円
お客様番号	4706-0118-65536
2021年 7月ご請求分	8月16日
ご請求先住所氏名 塩満久雄事務所 様	
1/2 3248	
金融機関用収納連絡先	TEL 0120-03-08-11 874-569 下関今浦郵便局
備考	(55015) N94280005

この受領証は、大切に保管してください。(金融機関・CVS店舗保管)

通常払込料金 振替払込請求書兼 加入者負担 受領証(金融機関控)	
口座番号	[REDACTED]
加入者名	NTTファイナンス株式会社
金額	6,984 円
お客様番号	4706-0118-65536
2021年 8月ご請求分	9月15日
ご請求先住所氏名 塩満久雄事務所 様	
1/2 3492	
金融機関用収納連絡先	TEL 0120-03-09-06 874-569 下関今浦郵便局
備考	(55129) N94120001

この受領証は、大切に保管してください。(金融機関・CVS店舗保管)

電話料金等払込受領証 西日本ご利用分	
ご請求先氏名 塩満久雄事務所 様	
1/2 3265	
お客様番号 4706-0118-65536	
2021年 9月ご請求分	
金額(円) ¥6,531	
受取人 NTTファイナンス株式会社	
お問合せ先 (無料) 0800-3335550	
領収日 附 印 21.10.5 下関今浦の 118204	
収入印紙貼付欄 (金融機関・CVS用)→お客様	

切り取らないでお出しください。

切り取らないでお出しください。

A 印または印を上手に銀行郵便局で支払いは左側2枚をお出しください。印以外でお支払いの場合は切り取らないでください。

領収書等添付票

費目	事務費	整理番号	1-3
----	-----	------	-----

【領収書その他の書面の添付欄】

通常払込料金 振替払込請求書兼 加入者負担 受領証(金融機関控)

日記帳番号 [REDACTED]

加入者名 NTTファイナンス株式会社

金額 6,408 円

お客様番号 4706-0118-65536

2021年10月ご請求分 11月15日

ご請求先住所氏名 塩満久雄事務所 様

1/2 3,204

金融機関用取納連絡先
TEL 0120-03-11-04
874-569 下関今浦郵便局

備考 (55129) N94160001

この受領証は、大切に保管してください。(金融機関・CVS店舗保証)

通常払込料金 振替払込請求書兼 加入者負担 受領証(金融機関控)

日記帳番号 [REDACTED]

加入者名 NTTファイナンス株式会社

金額 6,650 円

お客様番号 4706-0118-65536

2021年11月ご請求分 12月15日

ご請求先住所氏名 塩満久雄事務所 様

1/2 3,325

金融機関用取納連絡先
TEL 0120-03-12-21
874-569 下関入江郵便局

備考 (55015) N94280010

この受領証は、大切に保管してください。(金融機関・CVS店舗保証)

通常払込料金 振替払込請求書兼 加入者負担 受領証(金融機関控)

日記帳番号 [REDACTED]

加入者名 NTTファイナンス株式会社

金額 6,780 円

お客様番号 4706-0118-65536

2021年12月ご請求分 1月17日

ご請求先住所氏名 塩満久雄事務所 様

1/2 3,390

金融機関用取納連絡先
TEL 0120-04-01-06
874-569 下関入江郵便局

備考 現金払 (55015) N94290007

この受領証は、大切に保管してください。(金融機関・CVS店舗保証)

通常払込料金 振替払込請求書兼 加入者負担 受領証(金融機関控)

日記帳番号 [REDACTED]

加入者名 NTTファイナンス株式会社

金額 6,701 円

お客様番号 4706-0118-65536

2022年1月ご請求分 2月15日

ご請求先住所氏名 塩満久雄事務所 様

1/2 3,350

金融機関用取納連絡先
TEL 0120-04-02-07
874-569 下関入江郵便局

備考 現金払 (55015) 料金 110円

この受領証は、大切に保管してください。(金融機関・CVS店舗保証)

電話料金等払込受領証 西日本ご利用分

ご請求先氏名 塩満久雄事務所 様

1/2 2,606

お客様番号 4706-0118-65536

2022年2月ご請求分

金額(円) 7,213

受取人 NTTファイナンス株式会社

お問合せ先 (無料) 0800-3335550

収入印紙貼付欄
22.3.17
060143

ATMまたはゆうちょ銀行、郵便局でお支払の場合は、各欄の捺印をお出しください。上記以外でお支払いの場合は切り取らなくてください。

電話料金等払込受領証 西日本ご利用分

ご請求先氏名 塩満久雄事務所 様

1/2 3,243

お客様番号 4706-0118-65536

2022年3月ご請求分

金額(円) 6,487

受取人 NTTファイナンス株式会社

お問合せ先 (無料) 0800-3335550

収入印紙貼付欄
22.4.17
307651

ATMまたはゆうちょ銀行、郵便局でお支払の場合は、各欄の捺印をお出しください。上記以外でお支払いの場合は切り取らなくてください。

費目別支出内容一覧表

議員名 塩満久雄

費目	調査研究費・研修費・会議費・資料費 広報費・事務所費・ <u>事務費</u> ・人件費	整理番号	2-1	
事業内容	事務機器リース代(京セラデジタルモノクロ複合機 TASKalfa 3212/1台、富士通パソコンFMVD 38038P 1台)、複合機トナーTK-7126代			
経費内訳	項目	金額(円)	充当額(円)	内容
	4月~3月	18,1440	90,720	15,720×12ヶ月×1/2
	複合機トナー代	85,800	42,900	85,800×1/2
		《合計》	267,240	133,620
按分割合 積算根拠	政務活動(50%) 政務活動(50%) + その他の活動(50%) 月ごと按分 (1月未満切捨)			

- 注) 1 【全費目】注) 2を除く全ての費目の支出について、本一覧表を作成すること
報告に関しては、支出の種類(例: ガソリン、携帯電話代)ごとに1年分まとめて報告しても差し支えない
- 2 【調査研究費、研修費】公共交通機関利用料を支出した視察及び受講料(公共交通機関利用料を含む)を支出した研修については、別様式の「国内・海外視察、研修報告書」により報告すること
- 3 【広報費】広報紙は、経費内訳の内容欄に印刷・送付部数を記入すること
- 4 【事務所費】自己が所有する事務所に対する賃貸料は充当不可、事務所要件を満たさない場合は充当不可
- 5 【人件費】生計を一にする親族雇用は充当不可
- 6 領収書等は、別途「領収書等添付票」に添付すること

領収書等添付票

費目	事務費	整理番号	2-2
----	-----	------	-----

【領収書その他の書面の添付欄】

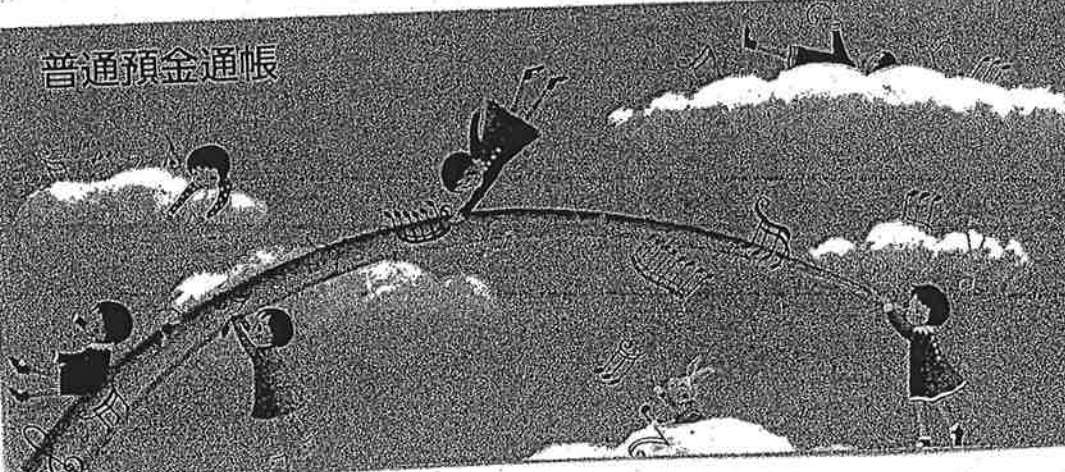
720	03-04-05	004 RT	*15,120	ワイムリス	[REDACTED]
901	03-05-06	004 RT	*15,120	ワイムリス	[REDACTED]
105	03-06-07	004 RT	*15,120	ワイムリス	[REDACTED]
204	03-07-05	006 RT	*15,120	ワイムリス	[REDACTED]
302	03-08-05	004 RT	*15,120	ワイムリス	[REDACTED]
402	03-09-06	004 RT	*15,120	ワイムリス	[REDACTED]
422	03-10-05	004 RT	*15,120	ワイムリス	[REDACTED]
523	03-11-05	004 RT	*15,120	ワイムリス	[REDACTED]
701	03-12-06	004 RT	*15,120	ワイムリス	[REDACTED]
803	04-01-05	004 RT	*15,120	ワイムリス	[REDACTED]
901	04-02-07	004 RT	*15,120	ワイムリス	[REDACTED]
105	04-03-07	006 RT	*15,120	ワイムリス	[REDACTED]

店番 [REDACTED] 口座番号 [REDACTED]

塩満 久雄 様

山口銀行
YAMAGUCHI BANK

普通預金通帳



領収書等添付票

費目	事務費	整理番号	2-3
----	-----	------	-----

【領収書その他の書面の添付欄】

〒750-0033
下関市山手町5-1 グリーンハイ206号

納品書
R03年08月23日

株式会社
カガカ
下関市南部町13番9号
電話 (083)222-6296
FAX (083)222-6070
☎(F) 0120-029-540

塩満久雄事務所 様 (45840)

No. 590241

商品名 / 規格	数量	単価	金額
1 京セラミタトナー TK-7126	1 本	78,000	78,000
2			
3			
4			
5			
6			

再度お買上
ありがとうございます。
左記の通り
納品申し上げます。

小計	78,000
消費税	7,800
合計	85,800

備考

担当者
[Redacted]

第 72 期

ご利用明細



毎度、山口銀行をご利用いただきありがとうございます。ご利用の明細は下記のとおりでございます。
たぐいお取引いただきました明細は下記のとおりでございます。

お取扱日	03-08-25	お取引内容	お支払
取扱店番号	004	取引店番号	[Redacted]
コード	12235	取引日	03
時刻	1059	金額	85,800
取引種別	0184	手数料	0
お振込内容	[Redacted]		
ご依頼人	シオミツ ヒサオ 様		

費目別支出内容一覧表

議員名 塩満久雄

費目	調査研究費・研修費・会議費・資料費 広報費・事務所費・事務費・人件費	整理番号	1-1		
事業内容	事務所職員給与				
経費内訳	項目	金額(円)	充当額(円)	内容	
	4月	150,000	75,000	150,000 × 1/2	
	5月	150,000	75,000		
	6月	150,000	75,000		
	7月	150,000	75,000		
	8月	150,000	75,000		
	9月	150,000	75,000		
	10月	150,000	75,000		
	11月	150,000	75,000		
	12月	150,000	75,000		
	1月	150,000	75,000		
	2月	150,000	75,000		
	3月	150,000	75,000		
		《合計》	1,800,000	900,000	
	按分割合 積算根拠	政務活動(50%) 政務活動(50%) + その他の活動(50%) 支出11月に按分 (11月未済切捨)			

- 注) 1. 【全費目】注) 2を除く全ての費目の支出について、本一覧表を作成すること
報告に関しては、支出の種類(例: ガソリン、携帯電話代)ごとに1年分まとめて報告しても差し支えない
2. 【調査研究費、研修費】公共交通機関利用料を支出した視察及び受講料(公共交通機関利用料を含む)を支出した研修については、別様式の「国内・海外視察、研修報告書」により報告すること
3. 【広報費】広報紙は、経費内訳の内容欄に印刷・送付部数を記入すること
4. 【事務所費】自己が所有する事務所に対する賃貸料は充当不可、事務所要件を満たさない場合は充当不可
5. 【人件費】生計を一にする親族雇用は充当不可
6. 領収書等は、別途「領収書等添付票」に添付すること

領収書等添付票

費目	人件費	整理番号	1-2
----	-----	------	-----

【領収書その他の書面の添付欄】

領 収 証

塩斎久雄事務所

様 No.

★ 7 150,000
但 4月分給与として

令和3年4月26日 上記正に領収いたしました

内訳	税率	金額(税抜・税込)	[Redacted]
	%	消費税額等	
	税率	金額(税抜・税込)	[Redacted]
	%	消費税額等	

取 入
印 紙

コクヨ ウケ-1097

領 収 証

塩斎久雄事務所

様 No.

★ 7 150,000
但 5月分給与として

令和3年5月25日 上記正に領収いたしました

内訳	税率	金額(税抜・税込)	[Redacted]
	%	消費税額等	
	税率	金額(税抜・税込)	[Redacted]
	%	消費税額等	

取 入
印 紙

コクヨ ウケ-1097

領 収 証

塩斎久雄事務所

様 No.

★ 7 150,000
但 6月分給与として

令和3年6月25日 上記正に領収いたしました

内訳	税率	金額(税抜・税込)	[Redacted]
	%	消費税額等	
	税率	金額(税抜・税込)	[Redacted]
	%	消費税額等	

取 入
印 紙

コクヨ ウケ-1097

領収書等添付票

費目	人件費	整理番号	1-3
----	-----	------	-----

【領収書その他の書面の添付欄】

領収証 塩崎久雄事務所 様 No.

★ 7 150,000-

内訳 現金 但 7月分給与として 収入印紙

小切手 / 令和3年7月26日 上記正に領収いたしました

手形 / [Redacted]

消費税額等(%) [Redacted]

コクヨ ウケ-98

領収証 塩崎久雄事務所 様 No.

★ 7 150,000-

内訳 現金 但 8月分給与として 収入印紙

小切手 / 令和3年8月25日 上記正に領収いたしました

手形 / [Redacted]

消費税額等(%) [Redacted]

コクヨ ウケ-98

領収証 塩崎久雄事務所 様 No.

★ 7 150,000-

内訳 現金 但 9月分給与として 収入印紙

小切手 / 令和3年9月25日 上記正に領収いたしました

手形 / [Redacted]

消費税額等(%) [Redacted]

コクヨ ウケ-98

領収書等添付票

費目	人件費	整理番号	1-4
----	-----	------	-----

【領収書その他の書面の添付欄】

領収証 塩蒔久雄事務所 様 No. _____

★ 150,000-

内訳 但 10月分給与と17

現金 / 令和3年10月25日 上記正に領収いたしました

小切手 /

手形 /

消費税額等(%)

コクヨ ウケ-98

領収証 塩蒔久雄 様 No. _____

★ 150,000-

内訳 但 11月分給与と17

現金 / 令和3年11月25日 上記正に領収いたしました

小切手 /

手形 /

消費税額等(%)

コクヨ ウケ-98

領収証 塩蒔久雄事務所 様 No. _____

★ 150,000-

内訳 但 12月分給与と17

現金 / 令和3年12月25日 上記正に領収いたしました

小切手 /

手形 /

消費税額等(%)

コクヨ ウケ-98

領収書等添付票

費目	人件費	整理番号	1-5
----	-----	------	-----

【領収書その他の書面の添付欄】

領収証 塩高久雄事務所 様 No. _____

★ 7 150,000-

内訳 但 1月分給与として

現金 _____

小切手 / 令和4年1月25日 上記正に領収いたしました

手形 / _____

消費税額等(%) _____

コクヨ ウケ-08

収入印紙

領収証 塩高久雄事務所 様 No. _____

★ 7 150,000-

内訳 但 2月分給与として

現金 _____

小切手 / 令和4年2月25日 上記正に領収いたしました

手形 / _____

消費税額等(%) _____

コクヨ ウケ-08

収入印紙

領収証 塩高久雄事務所 様 No. _____

★ 7 150,000-

内訳 但 3月分給与として

現金 _____

小切手 / 令和4年3月25日 上記正に領収いたしました

手形 / _____

消費税額等(%) _____

コクヨ ウケ-08

収入印紙

費目別支出内容一覧表

議員名 塩 満 久 雄

費目	調査研究費・研修費・会議費・資料費 広報費・事務所費・事務費・人件費	整理番号			
事業内容	事務所職員給与				
経費内訳	項目	金額(円)	充当額(円)	内容	
	4月	100,000	50,000	100,000 × 1/2	
	5月	100,000	50,000		
	6月	100,000	50,000		
	7月	100,000	50,000		
	8月	100,000	50,000		
	9月	100,000	50,000		
	10月	100,000	50,000		
	11月	100,000	50,000		
	12月	100,000	50,000		
	1月	100,000	50,000		
	2月	100,000	50,000		
	3月	100,000	50,000		
		《合計》	1,200,000	600,000	
	按分割合 積算根拠	政務活動(50%) 政務活動(50%) + その他の活動(50%) (1月未満切捨2)			

- 注) 1. 【全費目】注) 2を除く全ての費目の支出について、本一覧表を作成すること
報告に関しては、支出の種類(例: ガソリン、携帯電話代)ごとに1年分まとめて報告しても差し支えない
2. 【調査研究費、研修費】公共交通機関利用料を支出した視察及び受講料(公共交通機関利用料を含む)を支出した研修については、別様式の「国内・海外視察、研修報告書」により報告すること
3. 【広報費】広報紙は、経費内訳の内容欄に印刷・送付部数を記入すること
4. 【事務所費】自己が所有する事務所に対する賃貸料は充当不可、事務所要件を満たさない場合は充当不可
5. 【人件費】生計を一にする親族雇用は充当不可
6. 領収書等は、別途「領収書等添付票」に添付すること

領収書等添付票

費目	人件費	整理番号	2-2
----	-----	------	-----

【領収書その他の書面の添付欄】

領 収 証 塩崎久雄事務所 様 No. _____

★ ￥100,000-

但 4月分給与として

令和3年4月26日 上記正に領収いたしました

内訳	税率	金額(税抜税込)	[Redacted]
	%	消費税額等	[Redacted]
	税率	金額(税抜税込)	[Redacted]
	%	消費税額等	[Redacted]

取 入
印 紙
コクヨ ウケ-1097

領 収 証 塩崎久雄事務所 様 No. _____

★ ￥100,000-

但 5月分給与として

令和3年5月25日 上記正に領収いたしました

内訳	税率	金額(税抜税込)	[Redacted]
	%	消費税額等	[Redacted]
	税率	金額(税抜税込)	[Redacted]
	%	消費税額等	[Redacted]

取 入
印 紙
コクヨ ウケ-1097

領 収 証 塩崎久雄事務所 様 No. _____

★ ￥100,000-

但 6月分給与として

令和3年6月25日 上記正に領収いたしました

内訳	税率	金額(税抜税込)	[Redacted]
	%	消費税額等	[Redacted]
	税率	金額(税抜税込)	[Redacted]
	%	消費税額等	[Redacted]

取 入
印 紙
コクヨ ウケ-1097

領収書等添付票

費目	人件費	整理番号	2-3
----	-----	------	-----

【領収書その他の書面の添付欄】

領 収 証

塩満又雄事務所 様

No.

★ ￥100,000-

但 7月分給与として

令和3年 7月26日 上記正に領収いたしました

内訳	税率	金額(税抜・税込)	
	%	消費税額等	
	税率	金額(税抜・税込)	
	%	消費税額等	

収 入
印 紙

コクヨ ウケ-1097

領 収 証

塩満又雄事務所 様

No.

★ ￥100,000-

但 8月分給与として

令和3年 8月25日 上記正に領収いたしました

内訳	税率	金額(税抜・税込)	
	%	消費税額等	
	税率	金額(税抜・税込)	
	%	消費税額等	

収 入
印 紙

コクヨ ウケ-1097

領 収 証

塩満又雄事務所 様

No.

★ ￥100,000-

但 9月分給与として

令和3年 9月25日 上記正に領収いたしました

内訳	税率	金額(税抜・税込)	
	%	消費税額等	
	税率	金額(税抜・税込)	
	%	消費税額等	

収 入
印 紙

コクヨ ウケ-1097

領収書等添付票

費目	人件費	整理番号	2-4
----	-----	------	-----

【領収書その他の書面の添付欄】

領収証 塩満又雄事務所 様 No. _____

★ 7100,000-

但 10月分給与として

令和3年10月25日 上記正に領収いたしました

内訳	税率	金額(税抜税込)	[Redacted]
	%	消費税額等	[Redacted]
	税率	金額(税抜税込)	[Redacted]
	%	消費税額等	[Redacted]

収 入
印 紙
コクヨ ウケ-1097

領収証 塩満又雄事務所 様 No. _____

★ 7100,000-

但 11月分給与として

令和3年11月25日 上記正に領収いたしました

内訳	税率	金額(税抜税込)	[Redacted]
	%	消費税額等	[Redacted]
	税率	金額(税抜税込)	[Redacted]
	%	消費税額等	[Redacted]

収 入
印 紙
コクヨ ウケ-1097

領収証 塩満又雄事務所 様 No. _____

★ 7100,000-

但 12月分給与として

令和3年12月25日 上記正に領収いたしました

内訳	税率	金額(税抜税込)	[Redacted]
	%	消費税額等	[Redacted]
	税率	金額(税抜税込)	[Redacted]
	%	消費税額等	[Redacted]

収 入
印 紙
コクヨ ウケ-1097

領収書等添付票

費目	人件費	整理番号	2-5
----	-----	------	-----

【領収書その他の書面の添付欄】

領収証

塩満又雄事務所 様 No.

★ ¥100,000-

但 1月分給与として

令和4年1月25日 上記正に領収いたしました

内訳	税率	金額(税抜・税込)	
	%	消費税額等	
内訳	税率	金額(税抜・税込)	
	%	消費税額等	

取入
印紙

コクヨ ウケ-1097

領収証

塩満又雄事務所 様 No.

★ ¥100,000-

但 2月分給与として

令和4年2月25日 上記正に領収いたしました

内訳	税率	金額(税抜・税込)	
	%	消費税額等	
内訳	税率	金額(税抜・税込)	
	%	消費税額等	

取入
印紙

コクヨ ウケ-1097

領収証

塩満又雄事務所 様 No.

★ ¥100,000-

但 3月分給与として

令和4年3月25日 上記正に領収いたしました

内訳	税率	金額(税抜・税込)	
	%	消費税額等	
内訳	税率	金額(税抜・税込)	
	%	消費税額等	

取入
印紙

コクヨ ウケ-1097

費目別支出内容一覧表

議員名 塩満 久雄

費目	調査研究費・研修費・会議費・資料費 広報費・事務所費・事務費・ <u>人件費</u>	整理番号			
事業内容	事務所政務活動専門職員給与				
経費内訳	項目	金額(円)	充当額(円)	内容	
	4 A	60,000	60,000		
	5 A	60,000	60,000		
	6 A	60,000	60,000		
	7 A	60,000	60,000		
	8 A	60,000	60,000		
	9 A	60,000	60,000		
	10 A	60,000	60,000		
	11 A	60,000	60,000		
	12 A	60,000	54,012	60,000円のうち 54,012円を充当	
		《合計》	540,000	534,012	
按分割合 積算根拠					

- 注) 1 【全費目】注) 2を除く全ての費目の支出について、本一覧表を作成すること
報告に関しては、支出の種類(例：ガソリン、携帯電話代)ごとに1年分まとめて報
告しても差し支えない
- 2 【調査研究費、研修費】公共交通機関利用料を支出した視察及び受講料(公共交通
機関利用料を含む)を支出した研修については、別様式の「国内・海外視察、研修報告
書」により報告すること
- 3 【広報費】広報紙は、経費内訳の内容欄に印刷・送付部数を記入すること
- 4 【事務所費】自己が所有する事務所に対する賃貸料は充当不可、事務所要件を満た
さない場合は充当不可
- 5 【人件費】生計を一にする親族雇用は充当不可
- 6 領収書等は、別途「領収書等添付票」に添付すること

領収書等添付票

費目	人件費	整理番号	3-2
【領収書その他の書面の添付欄】			

領 収 証 塩新久雄事務所 様 No. _____

★ 60,000
 但 4月分給与
 令和3年4月26日 上記正に領収いたしました

内訳	税率	金額(税抜税込)	[Redacted]
	%	消費税額等	[Redacted]
内訳	税率	金額(税抜税込)	[Redacted]
	%	消費税額等	[Redacted]

収 入
印 紙

コクヨ ウケ-1097

領 収 証 塩新久雄事務所 様 No. _____

★ 60,000
 但 5月分給与
 令和3年5月25日 上記正に領収いたしました

内訳	税率	金額(税抜税込)	[Redacted]
	%	消費税額等	[Redacted]
内訳	税率	金額(税抜税込)	[Redacted]
	%	消費税額等	[Redacted]

収 入
印 紙

コクヨ ウケ-1097

領 収 証 塩新久雄事務所 様 No. _____

★ 60,000
 但 6月分給与
 令和3年6月25日 上記正に領収いたしました

内訳	税率	金額(税抜税込)	[Redacted]
	%	消費税額等	[Redacted]
内訳	税率	金額(税抜税込)	[Redacted]
	%	消費税額等	[Redacted]

収 入
印 紙

コクヨ ウケ-1097

領収書等添付票

費目	人件費	整理番号	Y-3
----	-----	------	-----

【領収書その他の書面の添付欄】

領 収 証

塩満久雄事務所 様 No.

★ 年 60,000
 但 7月分給与として
 令和3年7月26日 上記正に領収いたしました

内訳	税率	金額(税抜・税込)	
	%	消費税額等	
税率	金額(税抜・税込)		
	%	消費税額等	

取 入
印 紙
コクヨ ウケ-1097

領 収 証

塩満久雄事務所 様 No.

★ 年 60,000
 但 8月分給与として
 令和3年8月25日 上記正に領収いたしました

内訳	税率	金額(税抜・税込)	
	%	消費税額等	
税率	金額(税抜・税込)		
	%	消費税額等	

取 入
印 紙
コクヨ ウケ-1097

領 収 証

塩満久雄事務所 様 No.

★ 年 60,000
 但 9月分給与として
 令和3年9月25日 上記正に領収いたしました

内訳	税率	金額(税抜・税込)	
	%	消費税額等	
税率	金額(税抜・税込)		
	%	消費税額等	

取 入
印 紙
コクヨ ウケ-1097

領収書等添付票

費目	人件費	整理番号	3-4
----	-----	------	-----

【領収書その他の書面の添付欄】

領収証

塩崎久雄事務所様 No.

★ 円 60,000

但 10月分給与として

令和3年10月25日 上記正に領収いたしました

内訳	税率	金額(税抜税込)	
	%	消費税額等	
内訳	税率	金額(税抜税込)	
	%	消費税額等	

取入
印紙

コクヨ ウケ-1097

領収証

塩崎久雄事務所様 No.

★ 円 60,000

但 11月分給与として

令和3年11月25日 上記正に領収いたしました

内訳	税率	金額(税抜税込)	
	%	消費税額等	
内訳	税率	金額(税抜税込)	
	%	消費税額等	

取入
印紙

コクヨ ウケ-1097

領収証

塩崎久雄事務所様 No.

★ 円 60,000

但 12月分給与として

令和3年12月25日 上記正に領収いたしました

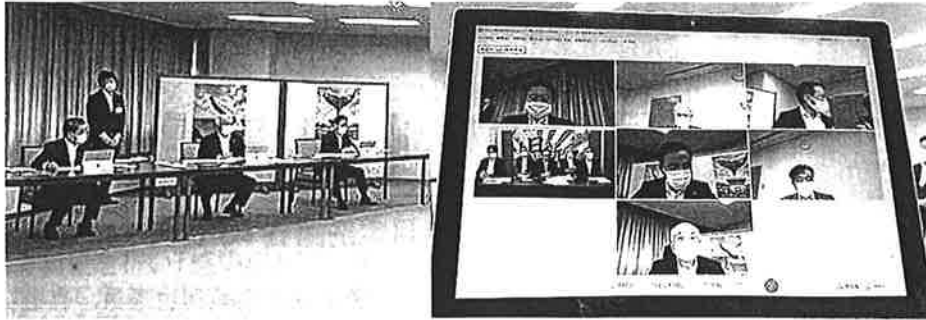
内訳	税率	金額(税抜税込)	
	%	消費税額等	
内訳	税率	金額(税抜税込)	
	%	消費税額等	

取入
印紙

コクヨ ウケ-1097

【商業捕鯨】令和3年6月4日

『新たな捕鯨母船の下関の母港化に関する政府要望』



山口県議会議員(第66代副議長)

しおみつ ひさお

塩満久雄

県政だより

山口県庁にて、農林水産省水産庁へのWEB会議に臨み「熊野正士農林水産大臣政務官」へ要望発言をして参りました。

「山口県議会、日本伝統捕鯨とクジラ食文化を守る議員連盟会長の塩満です、私からも、下関の母港化についてお願いを申し上げます」

「先ほど、村岡県知事、柳居県議会議長からも申し上げますとおり、県議会では、県と一緒に、鯨肉の消費拡大と捕鯨の理解促進に取り組んでいます」

「かつて、下関は遠洋捕鯨の基地として栄え、捕鯨や鯨肉は、全ての市民にとって馴染み深いものでした」

「また、捕鯨は経済的にも非常に裾野が広い産業であり、商業捕鯨の復活は、捕鯨が盛んで活気あつた当時に下関を知る者にとって、非常に喜ばしく感慨深いものがあります」

「しかし、商業捕鯨が一時中断となった期間があまりに長く、特に若い世代では、鯨肉料理や捕鯨に対する知識、関心が薄れているのではないかと危惧しています」

「このため、まずは地元で鯨に対する関心呼び起こし、母港化実現に向けた気運を醸成することが不可欠であるとの考えから、こうした取り組みを進めているものです」

「新たな捕鯨母船の下関の母港化」の実現は、下関の地域経済、及び山口県水産業を活性化させる起爆剤となるものと確信しております」

「国におかれては、こうした事情も、ご賢察の上是非、母港化の実現等に対し、ご支援を賜りますようお願い申し上げます」

コロナ禍に思う

今の新型コロナの拡大を「国難」と言った人がいます。

「国難」と言えば鎌倉時代に相次ぐ天変地異や疫病が起き、その原因と対策として日蓮が、「立正安国論」をあらわして法華経を政治の基にしなれば他国の侵略を受ける難と国内の内乱が起きる難を受けると予言し、やがて中国を制覇したモンゴル族の「元」が二度に渡って日本を侵攻するといふいわゆる蒙古襲来という国難に見舞われます。考えてみれば、今のコロナ禍も中国武漢を発祥源として今や全世界に拡大しています。

コロナ禍の「禍」とは、災いと言うことですが、これも中国の「戦国策」に禍を転じて福となす」という言葉があります。

災いも良く処理すればかえって幸せな結果を見ることが出来るという意味です。

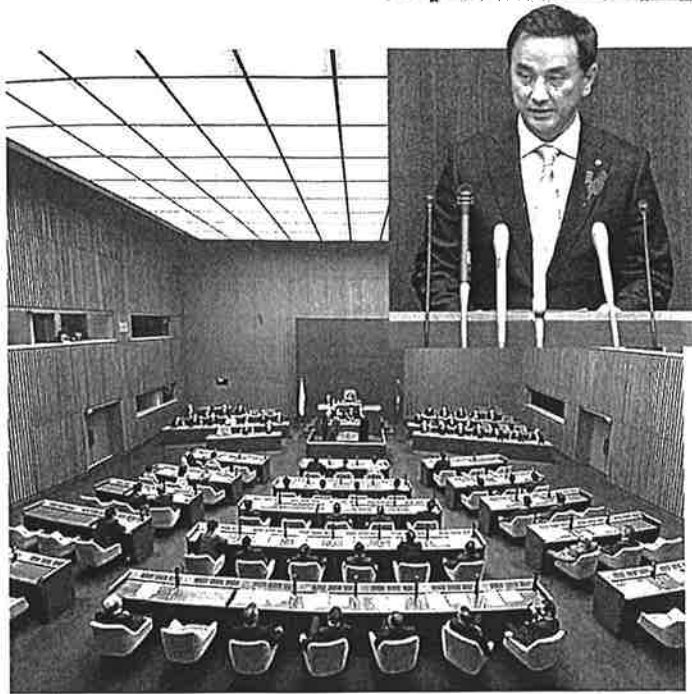
その一つの例が、デジタル化です。コロナの拡大でテレワークが一気に加速し、働き方にも変革をもたらした。学校の授業もオンラインが進み、オンラインによる会議も普通に行われる様になり、世界の首脳会議すらオンラインで行われる様になりました。

十四世紀、欧州で大流行したペストのパンデミックが後のルネサンスや宗教革命をもたらしたと言われています。コロナ禍によってあぶりだされた現代社会の問題点を見直し、人類の英知を結集して新しい文明社会を築いていく時だと思えます。

令和3年6月23日 山口県議会 . 6月定例議会 . 初日 村岡嗣政山口県知事(知事の提案)

まず、説明に先立ち、先日5/18日からの「コロナ感染拡大防止集中対策」で県民及び関係機関のご協力を得る中で病床利用率などの指標も落ち着きを取り戻し、6/20を以て集中対策を終了することが出来たとお礼が述べられました。

その後、上提議案の説明がありこの度の「令和3年度一般会計補正予算」は、今日迄の変異株の影響、クラスター、医療提供体制逼迫等の厳しい状況を踏まえ【総額241億3,100万円】を当面緊急を要する経費として補正を行い「感染症対策の徹底と経済活性化の両立」に向けて全力で取り組む。という概要説明がありました。



令和3年6月28日 山口県 . 6月定例議会 . 2日目 自由民主党の守田宗治議員(会派代表質問日)

本日、2日目の定例県議会は、各会派からの代表質問が行われました。

自由民主党は守田宗治議員、公明党は上岡康彦議員、民政会は小田村克彦議員が登壇しました。取り分け

自由民主党の守田宗治議員は【コロナ禍での地域経済の好循環実現について】県内経済の支えとコロナ収束後の需要喚起を山口県はどう取り組むのか、知事の見解を質しました。それに対して

村岡嗣政県知事は飲食業を始め観光業や農林水産業等、本県経済を支える幅広い業種において深刻な影響が生じている

【経済好循環対策】では「まず、事業者が安心して事業活動が継続出来るよう業種に関わらず、売上げがコロナ禍以前と比較して30%以上減少した中小事業者に対し、県独自の支援金として法人には40万円、個人には20万円を支給する」「売上げが減少した中小事業者へ、新たな補助制度を創設し、感染症防止対策(CO2センサー、テイクアウトの導入等)対応事業を促進」



「飲食事業者には、感染防止対策に関する新たな認証制度を創設し認証店には20万円の応援金を支給して、積極的に取り組む飲食事業者の活動を支援する」「交通事業者には経常的に必要となる車両の維持経費や更なる感染防止対策に要する経費を補助する」「PCR検査等の経費についても事業活動が安心して行えるよう、自主的に実施するところには経費を支援する」【経済の需要喚起対策】では「消費者が応援したい店舗へクラウドファンディング方式でプレミアム付きチケットのプレミアム率を50%に引き上げ、発行総額を10億円に増額する」「観光需要の回復に向けて、プレミアム宿泊券を既発行の30万枚に続き更に20万枚追加する、フェリー券は5万枚販売する」「県民を対象とした、5千円を上限に宿泊料金等の半額割引を実施すると共に、地域に限定した割引クーポン券を発行する、このキャンペーンは30億円強の規模で実施する」「県産農林水産物の消費を拡大するため(やまぐち食彩店)と連携し、16万人分の割引キャンペーンを展開する」等々、全力で取り組むとの答弁が行なわれました。

令和3年6月29日 山口県 . 6月定例議会 . 3日目 (一般質問)

本日の一般質問登壇者は、自由民主党・西本健治郎議員、公明党・石丸典子議員、民政会・戸倉多香子議員、日本共産党・木佐木大助議員の4名でした。取り分け

自由民主党の西本健治郎議員は【下関北九州道路について】関門橋と関門トンネルは老朽化等により通行止めが頻発し、市内の幹線道路では大渋滞を招くなど、深刻な事態が発生している。こうした課題を解消し、更なる産業振興等を図る為には、現道の代替性を確保する。下関北九州道路の早期整備が不可欠であると、県の今後の取り組みについて質しました。これに対して

村岡嗣政県知事は下関市と北九州市は人とモノが行き交う要衝として、関門地域の持つ潜在力は本県経済にも好循環をもたらす「活力みなぎる山口県」を実現させることが出来るものと確信している。

しかしながら、両市を結ぶ関門トンネルや関門橋は補修工事や事故等により頻りに通行規制が行われ周辺道路では、慢性的な渋滞が発生している。

この為、頻発する大規模災害時にも機能する信頼性の高い道路網を構築する観点からその早期整備が極めて重要と考えている、

これまででも、関係市・市、経済団体、議会と一体となって、その当該道路の必要性を国へ訴えてきました。

その結果、今年3月に橋梁形式による、地域が望む両市を最短で結ぶルート帯が、国の計画段階評価において、方針決定され、

4月には事業化に向けた次の段階である「都市計画や環境アセスメントを進める為の調査」に移行されるなど、着実に前進している、

「私は今後も皆様のお力添えを戴きながら、下関北九州道路の早期実現を目指し、取り組んでまいります」と答弁がありました。

令和3年6月30日 山口県 . 6月定例議会 . 4日目 (一般質問日)



本日の定例議会の一般質問者は、社民党・市民連合の中嶋光雄議員、育む会の松浦多紋議員、新政クラブの合志栄一議員、草の根の井原寿加子議員の4名でした。取り分け

新政クラブの合志栄一議員は
【より良い教育環境の実現、デジタルを活用した教育の充実】について
「知事は、マイクロソフト米国本社副社長との意見交換では、教育ICTの活用方法等について意見を交わされたと同っているが」

「CIO補佐官やこうした外部有識者からの助言を、デジタルを活用した教育の充実に、今後どのように活かしていこうと考えているのか」と所見を質しました。

これに対して

村岡嗣政県知事は

「お示しのように、デジタル技術による教育支援に世界的規模で取り組むマイクロソフト米国本社の副社長とも、先般、ICTを活用した教育の推進をテーマに意見交換を行いました」

「この対談を通じ、生徒の様々なデータを分析することで、それぞれの学習状況やいじめ等の生徒が抱える問題を早期に把握できること」

「また、ICTを活かして教育の質を高める為には教員の役割が重要であり、その能力を引き出すための支援が必要である事などを助言戴いたところです」

「こうした助言を踏まえ、今後、データに基づく個々の生徒に応じたきめ細かな指導方法の確立や、生徒の異常を早期に察知するための体制づくり、ICTの活用に係る教職員の意欲と能力の向上に向けた取り組みなどをさらに進めて参りたい」

「私は今後も、CIO補佐官や外部有識者からの助言・提案を参考としながら、デジタルを活用し、子供たちの可能性を広げると共に、誰一人取り残す事のない教育の実現を一層加速して参りたい」との答弁がありました。



令和3年7月1日

山口県.6月定例議会.5日目

(一般質問日)

本日の定例議会の一般質問者は、自由民主党・笠本俊也議員、日本共産党・藤本一規議員、社民党・市民連合会・宮本輝男議員の3名でした。取り分け

自由民主党・笠本俊也議員は

【山陰地域の高規格道路の整備に係る萩市の動きと県の認識について】
「山陰道について、現・萩市長は、(大井・萩道路)のルート変更や阿武川橋梁の二重化への変更を公言され、このままでは山陰道整備が立ち行かなくなるのではと危惧している」

また「小郡・萩道路については(明木・萩間)をバイパス計画に変更することを公言されている、これも事業の進捗が滞り中断してしまわないかという危惧を感じざるを得ない」と県の見解を質しました。

これに対して

和田卓県土木建築部長は

「お尋ねの山陰道の(大井・萩道路)のルート変更や、阿武川橋梁の二重化などに関する萩市の一連の動きについては、事業を

一から見直さざるを得なくなる可能性があることから、今後の事業進捗に多大な支障が生じかねないものと懸念を抱いているところです」

「この(大井・萩道路)の現在計画については、適正に決定された最適なものであり、県としては、当該道路の一日も早い完成のためには、現在の計画により事業を進



めるべきと考えています」

次に「小郡・萩道路の(明木・萩)間については、バイパス計画では、投資金額に見合う十分な整備効果が見込まれない事から、県道を活用する計画が最適であると認識しており、現在の計画により事業を進めたいと考えています」

「山陰道の早期整備に向けた取り組みは、今後とも、政府要望等あらゆる機会を通じ、議員連盟の皆様や地元期成同盟会等と軌を一にして、事業中区間の早期完成や未着手区間の早期事業化を、国に訴えていきたいと考えてい

令和3年7月2日

山口県.6月定例議会.6日目

(一般質問日)

本日の一般質問者は、自由民主党の高瀬利也議員、有近眞子議員、森繁哲也議員の3名でした。因みに

高瀬利也議員は

【防災・減災対策の推進について】

「木屋川流域の住民からは、過去の浸水被害の経験などから、木屋川ダムの機能強化を求める声が多く寄せられている」

「浸水被害を未然に防止するため、河川改修や浚せつ、洪水調節機能を発揮するダムの整備などの治水対策を強力に推進していただきたい」

「そこで治水対策をはじめとした防災・減災対策に、県はどのように取り組んでいくのか」と所見を質しました。

これに対して

村岡嗣政県知事は

「治水対策は、河川整備計画に基づき、中長期的な視点で計画的に実施する河川改修を着実に進めるとともに、短期的に効果を発現する河川内の土砂掘削などの対策を集中的に実施する」

「今年度からは、木屋川ダム機能強化に向けた事業にも着手したところであり」

「引き続き私は、県民の暮らしの安心・安全はあらゆることの基本であるとの認識の下、市町や関係機関と緊密に連携しハード・ソフト両面から、治水対策をはじめとした防災・減災対策の更なる充実強化に取り組んでまいらる」との答弁がありました。

有近眞知子議員は

【デジタル改革の推進に向けた市町への支援について】

「デジタル改革は、住民に一番身近な市町で取り組んでこそ恩恵は大きくなるが、行政自体のデジタル化はもとより、デジタルを活用した地域課題の解決を進めるとなると、単独の市町では解決できないことも、小規模な市町では十分に対応できる人材やノウハウが乏しい状況もあり、県が積極的に支援していく必要があるのではないか、市町への支援にどのように取り組むのか」と県の所見を質しました。

これに対して

村岡嗣政県知事は

「具体的には、AI等の先端的な技術に係る情報提供やDX推進に当たって相談対応、アプリ開発やデータ解析等への技術支援などを推進拠点で実施することとしており、この機能を展開していく中で、市町が地域課題解決に取り組むための実践的なノウハウ等を提供する」

「また、人材育成に向けては、特に、市町内部でのデジタル化のリーダーを育成していくため、拠点の機能を活かしながら、AI学習プログラムの提供や、データに基づく政策立案能力の向上研修、職員によるアプリ開発の内製化を目指した技術実習等を進めていくこととしている」

「私は、今後ともに市町との連携・協働を密にし、その取り組みをしっかりと支援しながら、地域課題の解決や新たな政策形成に向けた「やまぐちデジタル改革」を強力に、スピード感を持って推進する」との答弁がありました。

森繁哲也議員は

【農業の持続的な発展について】

「水稻が農業経営の基幹作物となっている本県において、トビイロウンカによる被害を抑え、稲作経営を安定させることが重要と考えるが、県として今後、農業の持続的な発展に向けて、どのように取り組んでいくのか」と県の所見を質しました。

それに対して

村岡嗣政県知事は

「当面の防除対策の強化については、早期発見による適期防除ができるよう、病害虫防除所が行う調査の開始時期を早め、各地域での調査地点や回数を増やしたところであり、今後、発生状況に応じた技術情報を速やかに発出する」

「長期的な視点での技術対策については、

昨年度のような大量飛来があっても被害を確実に抑えられるよう、国の研究機関等と連携し、全国に先駆けて、本県が独自に開発を進めてきた長期予測技術の精度を高め、適期に低コストで防除できる仕組みを構築する」

「私は、昨年度のような病害虫による被害を繰り返さないという強いお覚悟を持って、農業者が今後も安定的な稲作経営を継続できるよう、市町や農業団体と緊密に連携し、本県農業の持続的な発展に全力で取り組む」との答弁がありました。



令和3年7月5日

山口県.6月定例会議会.7日目

塩満久雄の質問(常任委員会)

6月定例会議会(本会議)に付議された議案が、各常任委員会に付託され、審議がおこなわれました。

私の所属する土木委員会では、条例議案と事件議決の2件は全て承認されました。

因みに、昨日の私の発言は

塩満久雄

【やまぐち未来開拓ロードプラン】について改めて、この5年間を総括して、これまでの取り組みをどのように評価しているか、県の見解を尋ねる

仙石克洋.山口県道路建設課長

平成28年～5年間の取り組みへの評価についてお答えします

具体的には、山陰道の「長門.俵山道路」をはじめ、県道岩国大竹線の「森ノ原バイパス」や県道徳山下松線の「荒神大橋の架替」などの主要な事業を完了することが出来た、中間評価では概ね計画通り進捗しているが、進捗状況が遅れている成果指標もある、今後5年間で、全ての指標において目標が達成出来るよう、必要な事業費の確保にも努め、重点的に取り組みたい。

塩満久雄

この度のロードプラン「主な整備箇所」の改訂を踏まえ、今後、幹



線道路網の整備にどのように取り組むのか、尋ねる

仙石克洋.山口県道路建設課長

幹線道路網、取り分け山陰道については、全線の早期完成に向け、山陰西部国道事務所や地元の関係団体と連携しながら、事業中の4区間の早期完成はもとより、計画段階評価中の「三隅～長門」間をはじめとした未着手区間の早期事業化に向け、取り組む。

また、下関北九州道路については、引き続き、国や関係県市と協力し、今年度から着手する都市計画や環境アセスメントを進めるための調査を、迅速かつ着実に進めるとともに、当該道路が、下関市をはじめとした関門地域の更なる発展に繋がるものとなるよう、地域の意向等も踏まえながら、その実現を目指して、精力的に取り組む」と答弁がありました。

これらの答弁に対して最後に

塩満久雄

幹線道路網の整備は、本県の地方創生を推進するとともに、国土強靱化を図っていくために、非常に重要な基盤となるものであり、いま説明のあった山陰道や下関北九州道路の整備促進に向けて議会としても、しっかり後押ししていく覚悟なので、執行部においても、関係県市や関係団体と緊密に連携して取り組んでいただくことを要望する。



令和3年7月9日

山口県.6月定例会議会

(最終本会議)

本日の最終本会議は、令和3年度一般会計補正予算議案(241億3114万円を追加し総額を7770億2410万円とする)他19件、意見書案1件についての採決が図られ、全員賛成で可決されました。

本会議では、各常任委員会に付託された議案に対する委員長報告に対して、賛否の討論があり、自由民主党の山手康弘議員と日本共産党の木佐木大助議員が登壇しました。取り分け

自由民主党の山手康弘議員は

「今回の補正予算は、コロナ禍の中で事業活動を継続するための支援金や、飲食店を応援するとともに県民が安心してお店を利用できる環境づくりに向けた「第3者認証制度」の創設と応援金の給付、更には感染防止対策に要するに経費や従業員へのPCR検査費用に対する支援など、事業活動を維持再開していくための取り組みが盛り込まれている」

「10月末までのワクチン接種に向けた、ありとあらゆる対策、一時的ではあるものの逼迫状態にあった受け入れ病床の拡充をはじめとした医療提供体制の整備に加え、検査体制の更なる充実に取り組まれることとされており、この着実な実施こそが、県民の安心に繋がるものと考えている」

「県は今後ともワクチン接種を進め、感染の更なる落ち着きがみられるよう、そしてコロナ後の県づくりに向けた歩みを着実に進めていただくようお願いする」と要望して、自由民主党会派を代表しての賛成討論としました。



【下関・北九州道路】令和3年8月18日 国土交通大臣へ Web 中央要望



本日、山口県庁・福岡県庁から Web による、村岡嗣政山口県知事、服部誠太郎福岡県知事と共に、県議会も赤羽一嘉国土交通大臣へ昨年に続いて、下関北九州道路の建設促進に向けて要望を致しました。席上、私は山口県議会下関北九州道路建設促進議員連盟会長として、地元の実情を申し上げ要望致しました。

「先日の大雨の際、関門橋を含め、県内の高速道路が通行止めになり、下関市内の国道二号線などは、大変な渋滞であった。昨年七月の豪雨の際も約十六時間に渡り関門橋で通行止めになるなど、毎年のように通行止めが発生し、地元としては、大変憂慮している」

「近年の激甚化、頻発化する気象災害に対するためには、道路ネットワークの多重性、代替性の確保は必要不可欠であり、下関北九州道路の早期実現を求める地域の声は確実に大きなものになっている」

「また、下関市をはじめとした関門地域の発展のために、下関北九州道路は、地元の長年の悲願であり、是非早期実現へ向け特段のご配慮をお願いしたい」と要望致しました。

なお、本日の Web 要望に当たっては事前に、山口県、下関市、福岡県、北九州市及び関係諸団体による、公式統一要望書が国土交通省に提出されております。

山口県議会議員(第66代副議長)
しおみつ ひさお
塩満久雄
県政だより

政変に思う

菅総理が突然次期総裁選に出馬しないと発表し菅内閣は一年余りで終りを告げました。

菅総理はコロナ禍の真只中で安倍内閣の後を継ぎ、「国民の生命を守る事を最優先にコロナ対策に明け暮れた」と総理自身が言われたようにコロナ対策に専念した一年余りでしたが、コロナ対策に出口も見えず、国民の批判の高まる中、急速に求心力を失つての退陣となりました。菅総理は就任時秋田県出身でエリートでも世襲でもない総理として高い支持率で発足しました。

これで思い出すのが、庶民宰相「今太閤」といわれた田中角栄総理です。新潟県の出身、学歴は小学校、菅総理と同様エリートでも世襲でもない五十四才の若き田中さんが「日本列島改造論」をかかげ、まさに「コンピュータ付ブルドーザー」として、日中国交回復などにつくしました。しかし、ロッキード事件に加えて立花隆の「田中角栄研究」と児玉隆也の「淋しき越山会の女王」という二つの記事が雑誌に発表されました。特に越山会の女王といわれた佐藤昭さんを書いた一文が厳しく、結局失脚に追い込まれました。しかし田中さんには日本列島改造という国家像がありました。一方菅総理は脱炭素社会への取組みをはじめ、デジタル庁の発足、携帯電話料の値下げなどの成果はありましたが最後まで国家像はきこえませんでした。まあコロナ禍の真只中であって見れば、その対策に追われ国家像などを発表する機会がなかったのかも知れませんが、政治学者の御厨貴さんは「菅さんはよくも、悪くも大官房長官で首相には化けられなかった。真面目に行政や政務に当たられた事に敬意を表します」といっておられます。適切な評価だと思います。

令和3年9月8日 山口県議会.9月定例議会.初日 村岡嗣政山口県知事(知事の提案)

本日より、定例山口県議会が始まりました。
初日の本会議では
先ず、村岡嗣政県知事より
「現在の新型コロナウイルス感染症の状況は、大都市圏のみならず」
「多くの都道府県において、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が実施されているが」
「感染力の強い変異株の影響等により、全国的にも感染拡大に歯止めがかからない状況になっている」
「そこで私としては、引き続いて、感染症対策の徹底と経済活性化の両立に向けて、全力で取り組む考えです」等の所見が述べられ、
今議会に審議される提出議案についての説明がなされました。

(主な議案の概要)

第一議案 新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けた飲食店等への営業時間の短縮要請に伴う協力金を支給する、一般会計予算補正の専決処理の件
第二議案 新型コロナウイルス感染症対策関連事業のほか、当面緊急を要する経費について補正総額 100 億 8,400 万円とする、令和3年度一般会計補正予算の件
について
概要の説明がありました。



令和3年9月13日 山口県.9月定例議会.2日目 議会運営委員会

本日は、代表質問日ですが本会議の開会前に【コロナ・デルタ株感染防止対策による、休業時短、要請を本日から更に2週間延長する】ことについて、議会運営委員会に以下の追加提出議案の説明がありました。

【追加提出議案】

第14号議案

飲食店等に対する営業時間短縮要請期間の延長に伴い協力金の支給について補正予算額 63 億 3,000 万円とする

第15号議案

デルタ株感染拡大防止集中対策期間の延長により影響を受ける事業者に対する支援金について単価の補正予算額 26 億 2,000 万円とする



自由民主党の守田宗治議員(会派代表質問)

本日の本会議に追加提出議案、上記 14、15 号の追加提案が村岡嗣政県知事よりあり、所管の委員会に付託され、14 号議案については、本日の本会議にて全員賛成で可決されました。

代表質問

本日の代表質問は、自由民主党より友田有議員、公明党より猶野克議員、民政会より井上剛議員の3名が登壇しました。取り分け

自由民主党の友田有議員は

「コロナから県民の命と暮らしを守る取り組みの強化について、デルタ株に起因した急速な拡大による県民の不安や命と暮らしを守る取り組みを今後どのように進めるのか」知事の所見を尋ねました。それに対して

村岡嗣政県知事は、

「長期間に及ぶコロナとの闘いにおいて、私は、医療提供体制の確保と感染拡大の防止、そして感染防止対策の切り札として、期待が高いワクチン接種の促進が何より重要と考え、10 月末までに希望する県民の皆様の接種を完了出来るよう、引き続き市・町や関係機関との連携を緊密にして、ワクチン接種の促進に努める」

「感染患者の受入れ病床の追加、宿泊療養施設・増室等、医療提供体制の強化を図る」

「先月 13 日より、感染拡大防止集中対策の中で県外往來の自粛や先月 30 日から飲食店などへの営業時間短縮を要請」

「更に本日の、追加提出議案の中でも、時間短縮の要請を2週間延長すると共に、支援金の増額補正を行う事としている」

「加えて、中小企業の経営安定を図る為の制度融資の見直し」

「集中対策の延長を踏まえた事業者への新たな支援金支給をすること」等々、引き続き、「国や市・町と連携し感染拡大防止と一日も早い社会経済活動の回復にスピード感を持って全力で取り組む」との答弁がありました。

令和3年9月14日 山口県.9月定例議会.3日目

(一般質問)

本日の登壇者は、自由民主党の江本郁夫議員、公明党の先城憲尚議員、社民党・市民連合の宮本輝男議員、自由民主党・新生会の橋本尚理議員の4名でした。取り分け

自由民主党の江本郁夫議員は

観光再生について

「現在、県では、『おいでませ山口観光振興計画』の改定を進めているとの事であり、ポストコロナに向けて戦略的に観光施策を推進するため、改定後の計画のもとで、本県の観光再生に向けて、今後どのように取り組んでいくのか」県の所見を尋ねました。

これに対して

村岡嗣政県知事は

「コロナ禍による危機を脱するための短期集中的な指針として『山口観光 V 字回復プラン』を策定し、観光産業の早期回復を図る為、宿泊施設における感染拡大防止や、高付加価値化、収益力向上に向けた取り組みを支援すると共に、大きく影響を受けた公共交通事業者の事業継続への支援を行う等、反転攻勢に向けた観光産業の基盤強化に取り組む事とする」と答弁しました。



令和3年9月15日 山口県.9月定例議会.4日目

(一般質問)

本日の登壇者は、日本共産党の藤本一規議員、新政クラブの合志栄一議員、草の根の井原寿加子議員、県民の誇

りを育む会の松浦多紋議員の4名でした。取り分け

新政クラブの合志栄一議員は

デジタル改革の推進（デジタル化の基本認識）について「デジタル化を進める上で大事なことはデジタル化とはどういうことなのか

についての正しい認識である。本県は、デジタル推進局を設置して全県的なデジタル化を強力に進めようとしているが、県のデジタル化についての基本認識は、どういふものなのか」と県の所見を質しました。これに対して

村岡嗣政県知事は

「もとよりデジタル化は、それ自体が目的ではなく、目的を達成するための手段の一つで、私は、デジタル技術の効果的な活用によって、今までにない手法で地域課題を解決し、新たな価値を生み出し、県民の暮らしや社会経済活動を飛躍的に向上させることが出来るものと考えている」

「これを具現化していくことが、まさにデジタル化の目的であり、県民誰もが希望するサービスやライフスタイルを自由に選択でき、これまで以上の豊かさと幸せを実感できる社会、その実現を目指して、『やまぐちデジタル改革』を推進して参る」と答弁しました。

令和3年9月16日

山口県.9月定例議会.5日目

(一般質問日)

本日の登壇者は、自由民主党の新造健次郎議員、公明党の曾田聡議員、社民党・市民連合の中嶋光雄議員、日本共産党の木佐木大助議員の4名でした。取り分け

自由民主党の新造健次郎議員は

テレワークを活用した移住等の推進について「県においては、仕事を続けながら地方に移住する『転職なき移住』や、余暇を過ごしながらか仕事を『ワーケーション』など」

「テレワークを活用した新たな需要を山口県に呼び込もうと、県庁一階にテレワークのモデルオフィスとなるYY!スクエアを、宇部空港にはワーケーションの総合案内窓口となるYY!ゲートウェイを開設した」

「新たに設置した2つの施設を皮切りに、本県としては、今後どのような戦略を持って、テレワークを活用した移住や関係人口の増加にどう取り組んでいくのか」

県の所見を質しました。

これに対して

村岡嗣政県知事は

「地方創生のテレワークの裾野を広げるワーケーションについては、全国的に誘致競争が激しくなる中、本県が目的地として選択されるよう、地理的に有位な首都圏近隣県や先進地との差別化を図っていく必要がある」

「このため、他の地域のような観光やレジャーだけでなく、企業の生産性向上やイノベーションの創出など、ビジネス面のメリットを強調した、本県ならではの特色あるプログラムを提供する『山口型ワーケーション』を実施する」

「私としては特に、県内企業との交流を通じて新規ビジネスの創出を目指す『企業交流プログラム』や、地域との交流活動を新たなマーケットの開拓にもつなげる『地域交流プログラム』等の開発を進め、企業の人材育成や事業展開の場として、本県を売り込んで行きたい」と答弁をいたしました。



令和3年9月17日

山口県.9月定例議会.6日目

(一般質問日)

本日の登壇者は、自由民主党から3名でした。因みに

山手康弘議員は

農村漁村における女性の活躍推進について

「本県農林水産業の更なる成長に向けて、農山漁村の女性が力を発揮できるような環境づくりが必要と考えるが、県として今後、農山漁村における女性の活躍推進にどのように取り組まれるのか」と県の所見を質しました。これに対して

村岡嗣政県知事は

「高齢化の進展等に伴い、地域の担い手が減少する中、農山漁村女性の活躍を積極的に推進することは、本県農林水産業の更なる成長や中山間地域の活性化を図る上で、極めて重要である」

「本年7月に農山漁村女性の働き方等に関する指標を見直し、『働きやすい環境づくり』、『ネットワークづくり』及び『応援体制づくり』の3つ視点から、次代を担う農山漁村女性への取り組みを強化する」と答弁しました。

坂本心次議員は

地域建設業の育成について

「本県の基幹産業である建設産業が将来にわたって社会的役割をしっかりと担えるよう、地域建設業の育成について、今後どのように取り組むのか」と県の所見を質しました。これに対して

村岡嗣政県知事は

「将来の県内建設産業を担う若者や女性の確保・育成に関する施策としては、産学公が連携し、現場見学会や、企業説明会等を通じて建設産業の魅力を発信すると共に、研修会等により離職防止を図るなど、若者の入職促進や定着支援に積極的に取り組む」

「建設産業の活性化支援に関する施策としては、適正な競争環境の整備や働き方改革の推進、新製品・新技術の利用促進などの取り組みを進める」

「こうした取り組みに加え、持続可能な建設産業の構築に向けた新たな取り組みとして、今後は、測量・設計、施工、維持管理のあらゆる段階で3次元データやAIなどのデジタル技術を積極的に活用することで、建設産業におけるDXを推進する」と答弁しました。

高瀬利也議員は

全県的なDX(デジタルトランスフォーメーション)の推進について

「新たに設置するDX推進拠点を核として、全県的なデジタルトランスフォーメーションの実現に向け、今後どのように取り組んでいくのか」県の所見を質しました。これに対して

村岡嗣政県知事は

「DXを全県的に推進していくためには、DXに対する理解の深化や、デジタル技術の活用に係る相談への対応、デジタル人材の育成等の課題に的確に対応していくことが必要である」

「『やまぐちDX推進拠点』は、新たに開設するものであり、その機能を活かして、デジタル化に向けたコンサルティングや先進的なICT環境による技術サポート、技術紹介や人材育成などに取り組み、地域や現場での様々なDXを支援する」

私は、この『やまぐちDX推進拠点』を核として、県内の各地域、各分野におけるDXの取り組みをしっかりと支援し、全県的なデジタルトランスフォーメーションを着実に実現出来るよう、全力で取り組む」と答弁しました。



令和3年9月21日

山口県.9月定例会議会.7日目

塩満久雄の質問(土木委員会)

本日は、9月定例会議会に提案された議案が各常任委員会に付託され、審議が行われました。

私の所属する土木委員会では災害復旧事業.20億.5,800万円、災害関連事業.5億.1,200万円、公共土木施設早期復旧対策事業.3億.5,200万円等の3件の議案は、賛成多数にて可決されました。

因みに、委員会での私の発言は

塩満久雄

国土強靱化の取り組みについて

「山陰道や下関北九州道路をはじめとした道路網の整備や橋梁の耐震化等を進めているが、災害時に機能する道路網の整備に向けてどう取り組むのか」県の所見を尋ねました。これに対して

仙石克洋道路建設課長は

【道路網の整備について】

「山陰道については、中国自動車道などと高速交通体系の早期構築を図るため『俵山・豊田道路』などの事業中区間の早期完成はもとより、計画段階評価中の『三隅～長門』間をはじめとした未着手区間の新規事業化に精力的に取り組む」

また「下関北九州道路については、今年度、事業化に向けた次の段階に移行しており、早期整備に向けた取り組みを精力的に進める」と答弁しました。

中原健司道路整備課長は

【橋梁の耐震化について】

「大規模地震等の災害発生時に、物資の輸送や被災者の医療機関への移送などを担う、緊急輸送道路等の耐震化を優先的に進めており、これまで、全233橋のうち、122橋が完了している」

「今年度は、国道191号粟野橋等の工事を行っているところであり、今後とも、橋梁の耐震化を計画的に進める」と答弁しました。

次に、塩満久雄は

土砂災害対策、治水対策の具体的な取り組みについて

「江の川の氾濫や熱海市の土石流災害などが発生し、災害の備えに対する県民の願いも高まる中、最近の災害を踏まえ、治水対策や土砂災害対策について、どう取り組むのか」と県の所見を尋ねました。

これに対して

河田信行砂防課長は、

【土砂災害対策】について

「まず、ハード対策として、今年度は、山口市の曾根南川など71箇所、土石流防止対策や、下関市の前方地区など18箇所の地滑り防止対策、周南市の東金剛山1地区など58箇所のがけ崩れ防止対策を実施しており、引き続き、5ヶ年加速化対策の予算も活用し、土砂災害対策に取り組む」

また「ソフト対策として、今年度は、キメ細やかな土砂災害の危険度分布の情報提供や、市町と連携し、住民自らが、作成する自治会等地区単位の土砂災害ハザードマップの作成支援を行っており、引き続き、住民の迅速かつ確かな避難に資するよう、情報提供や普及啓発活動を行う」と答弁しました

坂本和彦河川課長は、

【治水対策】について

「まず、ハード対策として、今年度は、河川整備計画に基づき、友田川をはじめとした28河川で河川改修を行

うとともに、平瀬ダムをはじめとした3つのダムの整備を実施する、また、5ヶ年加速化対策の予算を活用し、木屋川をはじめとした30箇所、河川内の土砂掘削を実施しており、引き続き浸水被害の軽減に取り組む」

また「ソフト対策としては、今年度からは新たに47箇所の簡易型水位計と24箇所の河川監視カメラの運用を開始したところであり、今後もこれらの機器を増設するなど、住民への的確な情報発信に努める」と答弁しました

塩満久雄は、

最後に、「安心、安全な暮らしに対する県民の願いは非常に強いものがある。県には、国土強靱化の取り組みを引き続き重点的、計画的に進め、災害に強い山口県づくりを推進するよう要望する」として、質問を終わりました。

令和3年9月24日

山口県.9月定例会議会

(最終本会議)

本日の最終本会議は、新型コロナウイルス感染症対策関連事業等の補正予算(100億8,400万円)など7議案と意見書案2件についての採決が図られ、賛成多数で可決されました。

本会議では、各常任委員会に付託された議案に対する委員長報告に対して、賛否の討論があり、

日本共産党から藤本一規議員、自由民主党から吉田充宏議員、社民党・市民連合から中嶋光雄議員、自由民主党新生会から橋本尚理議員が登壇しました。取り分け自由民主党の吉田充宏議員は

「この度の補正予算には、時短営業を余儀なくされた事業者のみならず、広範囲に影響が及んでいる実態を踏まえ、売上が減少する事業者への支援金が計上されている」「また、コロナ禍の長期化、先行きの不透明感により資金繰りに苦しむ県内中小企業の切実な訴えを受け、我党が公明党とともに要請した、新型コロナウイルス感染症対応資金の、据え置期間延長に対応した信用保証料に対する補助についても、村岡知事の英断により必要な予算措置を講じて戴いた」

「予算成立後は、これらの支援金や補助金が、真に必要な方々に一日も早く行き届くよう、速やかな執行に努めて戴くようお願いする」

「県におかれては、国の取組みともしっかりと連携して、医療提供体制の拡充、ワクチン接種の加速化に努めるとともに、今後は、足元の感染状況などを慎重に判断しながら、社会経済活動の正常化に向けた道筋を付けて戴きたいと思う」と述べ、賛成討論を終えました。





令和4年 新春行事



令和四年一月一日
 皆様、令和四年の新年明けましておめでとございます。今年一年のご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。
 元旦
 今朝は三時に起床して、早起会の元朝式に出席してまいりました。「朝起きはお国を興す第一歩」今年もしっかり頑張ります！



山口県議会議員(第66代副議長)
 しおみつひさお
塩満久雄
 県政だより

令和四年一月四日
 恒例
 下関でフグ初競り!!
 山口県下関市の南風泊市場で今朝三時、新年恒例の初競りに参加して参りました。
 定番となっている袋競りも、マスク着用とアルコール消毒の競りとなりました。



令和四年一月五日
 恒例
 下関市中央魚市場初セリ
 午前〇時半の初競りに、今年も参加して参りました。市場は、昨年新装された高度衛生管理荷捌き場完備の大規模な県営衛生管理施設として生まれ変わりました。
 又、商業捕鯨の拠点都市として、下関にて母船建造が行われることも決まり、着々と水産都市下関の地方創生が行われております。



現下、コロナ禍からの需要喚起の現れか、昨年比 一キロ最高値、二千円高の一万七千円で競り落とされました。
 出荷先は、主に関東、関西方面です。

令和三年十一月三十日
全国都道府県議会議員表彰伝達式
 十一月定例会議会の初日、山口県議会議員在職二十五年の表彰を賜りました。今日迄御支援を賜りました皆様方に、先ずもって心から厚く御礼申し上げます。



令和3年11月30日

山口県議会 .11月定例議会 .初日 村岡嗣政山口県知事(知事の提案)

本日より、11月定例議会が始まりました
初日の本会議では、先ず村岡嗣政県知事より「コロナ禍による只今の状況は、厳しい経営環境にも関わらず、多くの事業者の皆様にご協力を戴き、ワクチン接種の進捗も相まって9月末には全国の緊急事態宣言等全て解除され、落ち着いた状況が続いている、改めて県民の皆様のご理解と協力に対してお礼を述べる」
「今後は、懸念される第6波にそなえて引き続き基本的な感染防止対策の徹底を図っていく必要がある」
「今議会に提出する補正予算案は、医療提供体制の更なる充実や、地域経済を支える本県観光業の本格的な復興等に向けて、緊急に措置すべき経費として、編成をした」等の報告があり

『主な補正予算内容』について

- 1、令和3年度山口県一般会計補正予算
15億2,700万円
- 2、給与関係費
減額 47億8,800万円
内訳
【給与改定分(期末手当0.15月) 13億6,900万円
現員現給既定予算分 34億1,900万円】
- 3、新型コロナウイルス感染症対策関連
事業費 63億1,500万円
内訳
【感染拡大の防止対策 7億4,300万円
県内経済の下支え支援 31億6,500万円
消費需要喚起対策
観光事業者への支援 24億6,000万円】
との提案説明がおこなわれました。



令和3年12月6日

山口県 .11月定例議会 .2日目 議会運営委員会

現下のコロナ禍の中で、政府より「コロナ克服・新時代開拓の経済対策」が提出される為、山口県も関連補正予算267億6,300万円(添付資料の通り)を、今定例議会に追加提案することになった。

本会議

今日は、各会派より代表質問が行なわれ

自由民主党からは河野亨議員、公明党からは曾田聡議員、民政会からは小田村克彦議員の3人が夫々、登壇しました。因みに

自由民主党の河野亨議員は

「知事の今後の県づくり、県政運営に向けた決意について」

村岡県政の2期目は、様々な分野で目に見える形で実を結んでいる4年間でもあった、次なる4年間も山口県の明るい未来を創り出すための挑戦を続けて戴きたい、知事は2期目4年間の県政運営をどのように総括し、今後の県づくり、県政運営にどのような思いを持って臨もうと考えているのかその決意を改めて伺う」と質しました。これに対して

村岡嗣政県知事は、

「3期目の立候補決意表明について」

私は、知事就任以来、本県が直面する様々な課題を克服

し活力みなぎる山口県を実現するため、県内のあらゆる主体と力を合わせ、最重要課題である人口減少の克服と地域の活力創出に全力で取り組んできた、一方、新型コロナウイルスの感染拡大は、今なお予断を許さない状況が続いている、この様な中で、コロナから県民を守りぬき、傷んだ社会や経済を発展的に再生していく、この重大な責務を継続して果たしていかなければならない、そうした強い思いで次期知事選挙に立候補する決意をしたと答弁を致しました。

令和3年12月7日

山口県 .11月定例議会 .3日目

(一般質問)

初日の一般質問は、自由民主党から平岡望議員、公明党から石丸典子議員、民政会から酒本哲也議員、自由民主党新生会から橋本尚理議員の4名が登壇いたしました。取り分け

自由民主党の平岡望議員は、

「山口県の魅力度向上の取り組みについて」

今年も都道府県の魅力度ランキングが発表され、本県は昨年から大幅に順位を下けている、この結果をどのように受け止めて、また今後の県づくりを進める上で、山口県の魅力度をさらに向上させるために、どのような取り組みを行おうと考えられているのか知事の所見を質しました。

これに対して

村岡嗣政県知事は

「山口県は、海、山の多様な自然や個性豊かな温泉「明治維新胎動の地」として、全国に誇る歴史や文化遺産、さらには高品質で美味しい農林水産物や、温暖な気候、災害が少ないといった住み良さなど、多くの魅力に溢れている」従って

「効果的な情報発信力の強化と、本県の魅力の磨き上げを一体的に取り組み、多彩な魅力を束ねて山口県のイメージをより濃密に、そして力強く伝えていくことにより、魅力度を再び向上させてまいりたいと考えている」との答弁がありました。



令和3年12月8日

山口県 .11月定例議会 .4日目

(一般質問日)

本日の質問者は、共産党の木佐木大助議員、市民連合の中嶋光雄議員、草の根の井原寿加子議員、県民の誇りを育む会の松浦多紋議員の4名が登壇いたしました。取り分け

草の根の井原寿加子議員は

「追加提出の11月補正予算について」

「11月補正予算の総額268億円の内、235億円は従来型の公共事業で、土地改良や港湾整備等がどうして、この度の国のいう「新しい資本主義」

に連がるのか、又「防災・減災・国土強靱化」として、11月補正予算に取り上げる緊急性はどこにあるのか」と県の所見を質しました。それに対して

村岡嗣政県知事は

「この度、国は、感染症対応に万全を期すと共に「新しい資本主義」を起動させ「成長と分配の好循環」を実現するため「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」を決定したところである」

「私は、現下の経済情勢等を鑑み、経済対策の柱の一つである、未来社会を切り拓く「新しい資本主義」の起動



については、国が示した取り組みに沿って、農林水産業の生産基盤や地域の産業力の強化等を図り、地方活性化に繋げていく考えである」

又、「防災・減災・国土強靱化の推進など安全・安心の確保」についても同様に国の取り組みに沿って、事業効果の早期発現を図るため、優先度が高く重要な箇所について、公共事業予算を前倒しして計上したものである」と答弁しました。

令和3年12月9日

山口県.11月定例議会.5日目

(一般質問日)

本日の質問者は、新政クラブの合志栄一議員、自由民主党の森繁哲也議員、日本共産党の藤本一規議員、社民党・市民連合の宮本輝男議員の4名が登壇いたしました。

取り分け
自由民主党の森繁哲也議員は「萩保健医療圏における中核病院の形成について」
萩市では、前市長の下で、県との連携により、萩市民病院と都志見病院との統合による、中核病院の形成に向けた検討が進められてきたが、新市長が市独自にゼロベースで見直すとした「結局、前市長の下で進められていた方針に立ち戻った」



「中核病院の形成には一刻の猶予もない、今後は前市長時代に議論され、成果を継承しながら地域の将来あるべき医療提供体制の実現に向け、着実に歩みを進めねばならない」

「知事は、この度の萩市長の方針表明をどう受け止め、今後どう取り組むのか、改めて見解を伺う」と県の所見を質しました。

これに対して

村岡嗣政県知事は

「私は、高齢化の進行を伴う医療需要の増大に対応し、県民が生涯を通じて住み慣れた地域で安心して暮らし続けていくためにはより効率的で、質の高い医療提供体制を確保することが重要であると考えている」

「萩医療圏においては、医療機関構想調整会議において協議され、令和2年1月に、萩市民病院と都志見病院とを統合し、中核病院を形成することが、地域医療構想を推進する重要な方向性として打ち出されている」

「この度、示された方針は、前市長の下ですすでに骨格をまとめ、調整会議で合意された方向性に沿ったものであり、本来あるべき方向性が示されたものと受け止めている」従って

「地域の医療体制を確保するため、調整会議において議論を深め、国や市等との、緊密な連携を図りながら、萩保健医療圏における中核病院の形成に向けた取り組みを推進する」と答弁が行なわれました。

令和3年12月10日

山口県.11月定例議会.6日目

(一般質問日)

本日の質問者は、自由民主党の畑原勇太議員、国本卓也議員、俵田祐児議員の三名が登壇致しました。

因みに

畑原勇太議員は

「基地交付金による地域振興について、県東部地域の産業振興支援機能の構築について」

「岩国、和木地域は、岩国基地と共存する制約から都市基盤や産業環境整備においても制限をうけてきた」

「地元市町や商工団体等と連携し、今後どのように取り組んでいくのか」と県の所見を質しました。

これに対して

村岡嗣政県知事は

「産業活動やまちづくりなどに様々な制約を受ける基地周辺地域の振興にむけて、私は、米軍再編に係る県交付金を有効に、活用し」

「地元ニーズにしっかりと対応した支援策を講じていくことが重要と考えている」

「今後は、県、地元市町、商工団体、産業支援機関、DXの専門家等で構成する検討組織を立ち上げ」

「基本計画の策定を進め、効果的な産業振興に係る支援機能の早期構築に向けて着実に取り組む」と答弁致しました。

国本卓也議員は

「インフラマネージメントの高度化について」

「山口県は「日本一の安心インフラやまぐち」を掲げ、橋梁や河川の維持管理におけるデジタル技術の活用に取り組んでいるが」

「今後は、その他の施設についても活用の対象を拡げ、インフラマネージメントの高度化を推し進めるべきと考えるが、これらの取り組みについて」県の所見を質しました。これに対して

村岡嗣政県知事は

「今後は、橋梁だけでなく、他の公共インフラの老朽化対策も大きな課題となっていることから」

「橋梁や河川での取組みなど踏まえ、インフラマネージメントの高度化について、トンネルやダム等にも対象を拡大し、検討を進めていく考えである」

「私は、県民の暮らしの安心・安全はあらゆることの基本であるとの認識の下、公共土木施設の適切な維持管理を進めるとともに」

「デジタル化技術等を活用し、計画的かつ効率的に点検や補修を実施することにより「日本一の安心インフラやまぐち」を実現して参る」と答弁致しました。

俵田祐児議員は

「中山間地域対策の推進について」

「平成の大合併を機に、図らずも周辺部となった地域をはじめ、疲弊の著しい中山間地域の実態をふまえ、今後の中山間地域対策をどのように進めていくのか」と県の所見を質しました。

これに対して

村岡嗣政県知事は

「既存の集落の枠を越え、複数の集落が、広域的に支えあう「やまぐち元気生活圏」の形成を進め」

「地元市町との連携の下、生活サービス等の拠点機能を基幹的集落に整備し、機能の確保が困難な、周辺集落とネットワーク化を図るとともに」

「6次産業の振興や生活交通の確保、移住交流の促進など、地域の実情に応じた様々な取組を支援してきたところである」

「今後、自らもできる限り現地に赴いて直接、地域の皆様の声を聞き、これをしっかりと受け止めながら、引き続き市町と一体となって、中山間地域の維持活性化に全力で取り組んでまいります」と答弁致しました。



令和3年12月13日

山口県.11月定例会議会.7日目

常任委員会

今日は、今定例会議会に提案された議案が、各常任委員会に付託され審議が行われました。

私の所属する土木建築委員会では、令和3年度山口県一般会計補正予算と追加提案された国経済対策関連補正予算の議案は、賛成多数にて、全て可決されました。

因みに、私の委員会質問は

塩満久雄

「国の経済対策を活用した防災・減災・国土強靱化の推進について」

「今回の補正予算によって、本県の防災・減災、国土強靱化の取組を今後具体的にどのように進めることとして、いるのか県の取り組みについて尋ねる」と県の考えを質しました。これに対して

藤井.土木建築部監理課長は

「土木関係では、総額181億円の補正予算案を追加提出し、優先度が高く重要な箇所について、公共事業予算を前倒して計上したところである」同じく

中原.道路整備課長は

「道路事業における具体的な取組について、老朽対策として、橋梁やトンネル、舗装の補修などに、約61億円を計上し防災・減災対策として、緊急輸送道路等の法面対策や橋梁の耐震化、電線類の地中化に約11億円計上したところである」同じく

坂本.河川課長は

「河川事業における、具体的な取組として堤防の嵩上げなどの河川改修や短期的な効果を発現する、河川内の土砂掘削などに約16億円を計上した」また、「排水機場の主ポンプ設備のオーバーホールなどに、約8億円を計上し、老朽化対策を計画的に推進する事としたところである」同じく

河田.砂防課長は

「砂防関係事業における具体的な取組として、砂防堰堤などの土石流対策や、集水ボーリングなどの地滑り防止対策、法枠などの崖崩れ対策の他、健全度が低い砂防堰堤の補強などの老朽化対策に係る経費として、約19億円を計上したところである」と答弁致しました。

これを受けて

次に、**塩満久雄**は

「早期執行について、先日の本会議で「事業効果の早期発現に向け、迅速かつ機動的な執行を図っていく」と答弁があったが、具体的にどう取り組むのか」県の考えについて、尋ねました。

これに対して

米原.技術監理課長は、

「今回の補正予算の執行にあたり、事業効果と経済効果を

早期に発現させるためには、河川内の土砂掘削等の河川改修や、橋梁の耐震化、施設の老朽化対策などの工事を、早期に発注することが重要であると考えている」

「県としては、これらの取組により、今回の補正予算の迅速かつ機動的な執行を図ることで、事業効果と経済効果を早期に発現出来るよう努めてまいる」と答弁致しました。これに対して、最後に

塩満久雄は、

「県には、今回の国の経済対策を最大限活用して、防災、減災、国土強靱化の取組を迅速に進めて戴きたい」と要望して、質問を終わりました。



令和3年12月17日

山口県.11月定例議会

(最終本会議)

本日の最終本会議は、令和3年度・山口県一般会計補正予算及び、国の「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」に関連する県の補正予算等、含め24議案と意見書5件についての採決が図られ、賛成多数で可決されました。また意見書案については2件が採択されました。本会議では、各常任委員会に付託された議案に対する委員長報告についての賛否の討論があり、社民党・市民連合・宮本輝男議員、自由民主党・坂本心次議員、日本共産党・木佐木大助議員が登壇しました。

取り分け

自由民主党・坂本心次議員は

「補正予算についての賛成意見」を述べました。

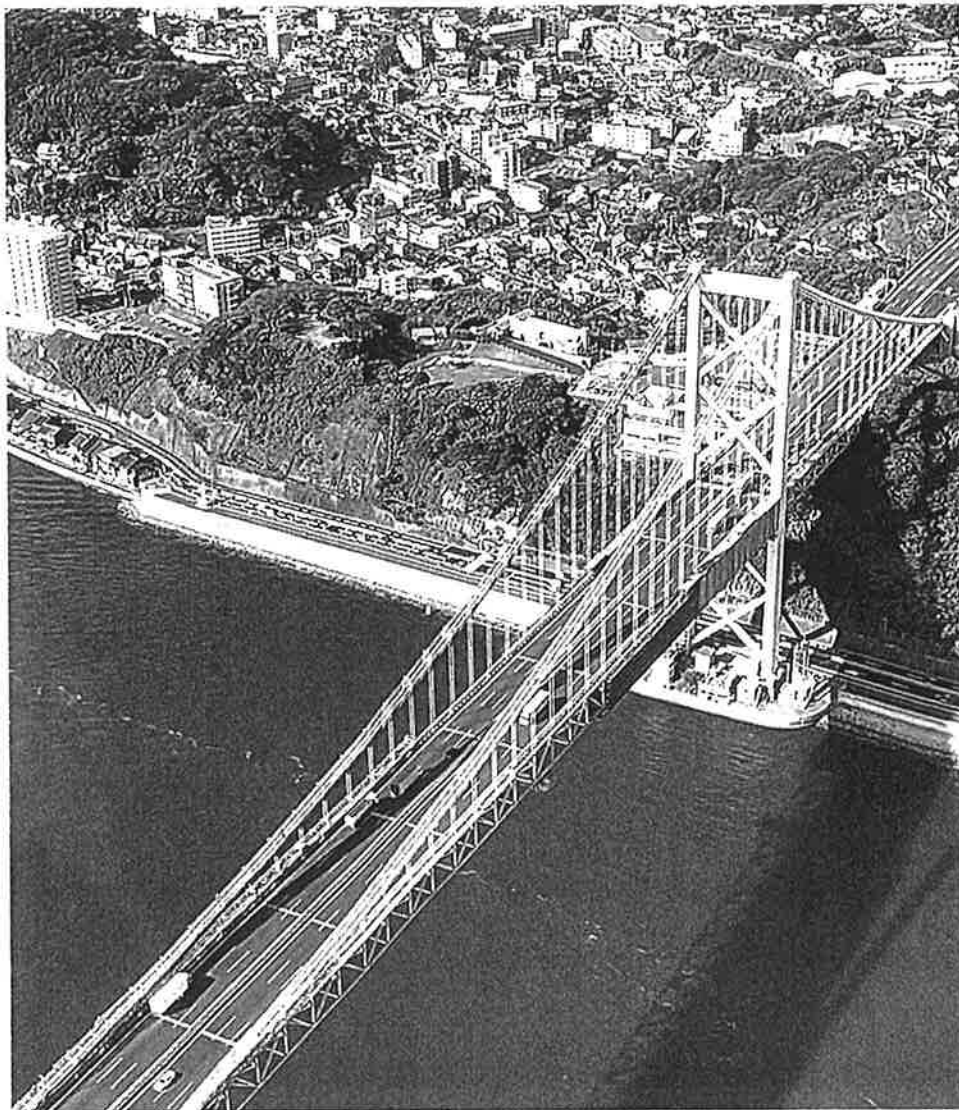
「総額24億円の観光事業者支援対策を計上されたことは、本県の観光業の再起動に向け、大きな一歩を踏み出せるものと大いに期待する」

「この度の補正には、第6波で想定される最大療養者数1,400名に十分対応できる病床の追加や宿泊療養施設の新規開設に係る経費が計上されている」

「国においては「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」を強力に進めるための財政的な裏付けとなる補正予算が、来週早々に成立する見込みとなっている、この経済対策が新型コロナウイルス感染症という未曾有の国難を乗り越え、世界に誇れる新しい日本の未来を切り拓いていく一歩になるものと確信している」

「さらに、自然災害への備えや老朽化対策、また産業力の強化に向けて、所要の公共事業費が計上されており、県には、経済対策の趣旨も踏まえ、事業効果と経済効果の双方が早期に発現されるよう、スピード感をもって取り組んで戴きたい」と述べ賛成の討論と致しました。





山口県議会議員(第66代副議長)

しおみつひさお

塩満久雄

県政だより

二人の政治家

コロナ禍の中、相次いで二人の政治家が亡くなった。海部俊樹元首相と石原慎太郎元東京都知事である。

海部氏は竹下内閣がリクルート事件で退陣した後、発足した宇野宗佑首相が参院選での惨敗の責任をとって僅か六十八日間の在任で退陣したあとと早大雄弁会出身のさわやかな弁舌に加え若々しい風貌、クリーンイメージなどで最大派閥の竹下派の支持を受け首相に選ばれたのである。

海部内閣は湾岸戦争の際一時海外派兵に踏み切るなど自衛隊の海外派兵への道を開けたほか、長年の課題であった政治改革への実現に特に意欲を燃やし、選挙制度改革などから成る政治改革改正法案を国会に提出したが承認されず「重大な決意」で事態の打開をはかると表明したものの結局退陣することになった。

もう一人は石原慎太郎元東京都知事である。よく知られる如く、学生時代に書いた小説「太陽の季節」が芥川賞になり作家となった後、国会議員となり環境庁長官、運輸相を勤めその後都知事に転身し「東京から日本を変える」として四期中途まで在任し国に対して主張する首長としてのイメージを高めた。その間銀行税の導入や築地市場の移転、昨年開催された東京オリンピックの招致などに力を尽くした。その後再び国会議員として活躍したが、2014年政界を引退した。

石原氏は作家の枠を越えて政治活動をした。一方で歯に衣着せぬ発言が波紋を広げたが言葉で人を動かす力のあつた数少ない政治家の一人であった事はまちがいない。奇しくもこの二人は宇野内閣退陣後の総裁選を二人で争ったうちの二人である。残りの一人は林芳正氏の父君義郎氏である。林義郎氏はすでに亡く、残った海部、石原両氏も相次いで、この程亡くなった。共に戦前の昭和一代生まれであり、政治家として共に一つの時代を作った人達であった。確実に時代は新しくなっていくのである。

捕鯨母船の下関の母港化 この1年の動向



令和3年6月4日

【商業捕鯨】

『新たな捕鯨母船の下関の母港化に関する政府要望』

山口県庁にて、農林水産省・水産庁へのWEB会議に臨み「熊野正士農林水産大臣政務官」へ要望発言をして参りました。

「山口県議会、日本伝統捕鯨とクジラ食文化を守る議員連盟会長の塩満です、私からも、下関の母港化についてお願いを申し上げます」

「先ほど、村岡県知事、柳居県議会議長からも申し上げましたとおり、県議会では、県と一緒に、鯨肉の消費拡大と捕鯨の理解促進に取り組んでいます」

「かつて、下関は遠洋捕鯨の基地として栄え、捕鯨や鯨肉は、全ての市民にとって馴染み深いものでした」

「また、捕鯨は経済的にも非常に裾野が広い産業であり、商業捕鯨の復活は、捕鯨が盛んで活気があった当時の下関を知る者にとって、非常に喜ばしく感慨深いものがあります」

「しかし、商業捕鯨が一時中断となった期間があまりに長く、特に若い世代では、鯨肉料理や捕鯨に対する知識、関心が薄れているのではないかと危惧しています」「このため、まずは地元で鯨に対する関心を呼び起こし、母港化実現に向けた気運を醸成することが不可欠であるとの考えから、こうした取り組みを進めているものです」「【新たな捕鯨母船の下関の母港化】の実現は、下関の地域経済、及び山口県水産産業を活性化させる起爆剤となるものと確信しております」

「国におかれてましては、こうした事情も、ご賢察の上、是非、母港化の実現等に対し、ご支援を賜りますようお願い申し上げます」

以上が私の発言要旨です。



市長と知事、農水省に要望



捕鯨母船、下関母港化を

山口県下関市に再建計画を提出した日新丸の母船式捕鯨船団の出入港と安定的かつ持続的捕鯨を推進するべく、市長と知事、農水省に要望を述べた。

山口県下関市に再建計画を提出した日新丸の母船式捕鯨船団の出入港と安定的かつ持続的捕鯨を推進するべく、市長と知事、農水省に要望を述べた。

令和3年6月5日(土)
山口新聞



令和3年11月12日

令和4年度・山口県予算の政府要望

『新たな捕鯨母船の下関の母港化に関する政府要望』

11月11日、山口県の来年度予算要望について村岡副知事、柳居俊学県議長と共に各省へ、県政振興の予算獲得に奔走して参りました。

【農林水産省・金子原二郎農林水産大臣】

「今後も商業捕鯨が持続的に発展出来るよう、捕獲枠の拡大等に国としても取り組んで参りたい」

「農林水産業が持続的に発展出来るよう、国としても「みどりの食料システム戦略」に基づき、農林水産業の脱炭素化やスマート化に取り組んで参りたい」



令和3年11月12日 令和4年度・山口県予算の政府要望

新たな捕鯨 鯨肉等

提案・要望

- 1 新たな捕鯨母船の下関の母港化
- 2 新たな捕鯨母船の円滑な建造に

現状

- 令和元年7月から商業捕鯨が再開
- ・下関は沖合操業(母船式捕鯨)の基地として計母船式捕鯨船団の出入港と安定的かつ持続的
- 母船「日新丸」は建造後34年が経過し、老朽
- ・令和4年に代船を建造する業者が選定される
- 今後の商業捕鯨の持続的な発展に向けた取
- ・学校給食における鯨肉提供支援の拡大(R3年3回)や、飲食店等と連携したくじらフェア等
- ・下関地域では、R3年度まで産学官連携による価値化の研究を実施





令和3年12月21日
山口県と下関市の商業捕鯨政策
【下関市での母港・母船化】について

「新たな捕鯨母船、下関にて建造」

2018年12月からちょうど3年を迎えるIWC(国際捕鯨委員会)からの日本脱退に伴って新たな方向で、進んできた我が国の商業捕鯨は、その拠点基地となる母港・母船化を巡って、以前より捕鯨に縁のある地方都市間で競われてきた。

私は、山口県議会の(鯨議員連盟の会長)として国策で進められて来た日本の商業捕鯨を、地元の国会議員の先



生方や農林水産省、水産庁等へ山口県と下関市が連携する中で、是非「下関にて」と要望や陳情を、繰り返してまいりました。

この度の報道内容では、いよいよこれで山口県と下関市の商業捕鯨政策は本格始動するのではないかと考えております。

当面は、民間ベースで契約が行われ、母船建造が行われると思いますが「山口県、下関市の新産業創生と故郷発展」の為、立派な母船建造となりますよう、ご尽力賜りますことを心よりお願い申し上げます。



今後共、鯨食の普及と母港化に寄与してまいります。

資料

～ やまぐち維新プラン・第2期総合戦略推進(超重点)要望 ～

鯨母船の下関の母港化(代船建造)と鯨の消費拡大対策の推進について

《農林水産省/水産庁》

化の実現

3 捕獲枠と捕獲鯨種の拡大

に係る幅広い支援

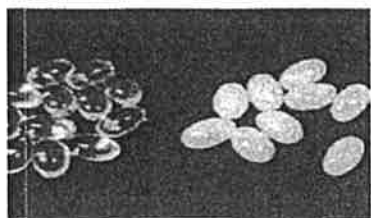
4 鯨肉等の消費拡大対策への支援

課題・問題点

認知され、今後においても売価的な鯨肉の陸揚げが期待。劣化が顕著な見込み

仮組の推進 年度～全ての小中学校等で鯨の開催 鯨の未利用部位の高付加

- 老朽化が著しい捕鯨母船「日新丸」の代船建造が不可欠
 - 建造費等への幅広い支援が必要
- 「日新丸」の現在の母港は、広島県尾道市
 - 鯨肉の安定的な陸揚げのためには、基地化と一体となった母港化の実現が必要
- 商業捕鯨の捕獲鯨種は3鯨種で、鯨種ごとに捕獲枠が設定
 - 商業捕鯨の持続的な発展のためには、陸揚量の増加が必要であり、そのためには捕獲枠と捕獲鯨種の拡大が必要
- 商業捕鯨を将来にわたって持続可能なものにするためには、若い世代を中心に幅広い鯨肉の継続的な消費拡大対策が必要



下関北九州道路の早期実現についての動向



令和3年8月18日
【下関・北九州道路】
国土交通大臣へ
Web 中央要望



本日、山口県庁・福岡県庁からWebにて、村岡嗣政山口県知事、服部誠太郎福岡県知事と共に、県議会も赤羽一嘉、国土交通大臣へ昨年に続いて、下関北九州道路の建設促進に向けて要望を致しました。

席上、私は山口県議会、下関・北九州道路建設促進議員連盟会長として、地元の実情を申し上げて要望致しました。

「先日の大雨の際、関門橋を含め、県内の高速道路が通行止めになり、下関市内の国道2号線などは、大変な渋滞であった」

「昨年7月の豪雨の際も約16時間に渡り関門橋で通行止めになるなど、毎年のように通行止めが発生し、地元としては、大変憂慮している」

「近年の激甚化、頻発化する気象災害に対するためには、道路ネットワークの多重性、代替性の確保は必要不可欠であり、下関北九州道路の早期実現を求める地域の声は確実に大きなものになっている」

「また、下関市をはじめとした関門地域の発展のため

に、下関北九州道路は、地元の長年の悲願であり、是非早期実現へ向け特段のご配慮をお願いしたい」と要望致しました。

なお、本日のWeb要望に当たっては事前に、山口県、下関市、福岡県、北九州市及び関係諸団体による、公式統一要望書が国土交通省に提出されております。



令和3年11月12日
令和4年度・山口県予算の政府要望

11月11日、山口県の来年度予算要望について村岡嗣政県知事、柳居俊学県議長と共に各省へ、県政振興の予算獲得に奔走して参りました。【国土交通省・齊藤鉄夫国土交通大臣】

「港湾は、日本の競争力の源泉であり、カーボンニュートラルポートの形成に向けた取組も含め、国際バルク戦略港湾の整備をしっかりと進めて参りたい」

「山陰道や下関北九州道路をはじめとする幹線道路網の整備が早期に進むよう、しっかりと取り組んで行く」
「地方が元気になるよう、防災、減災、国土強靱化の取組を機動的に進めて行きたい」



現状と課題

◇海峡を越えた交流・連携

・本州と九州の結節点である下関市と北九州市は、人やモノが行き交う要衝として一体的に発展しており、「くらし」、「産業」、「観光」など様々な面において緊密に連携

◇循環型ネットワークの形成・リダンダンシーの確保

・两市街地間を結ぶルートは、老朽化が進む関門橋、関門トンネルのみであり、「迂回」、「渋滞」、「通行止め」などの課題が存在

一体となった生活圏

海峡を挟んで約120万人の都市圏を形成

産業の連携

北部九州・山口では、イギリスやイタリアの生産台数を上回る自動車産業が集積し、海峡を横断する部品輸送の約7割以上が自動車輸送

日本における
自動車産業の割合

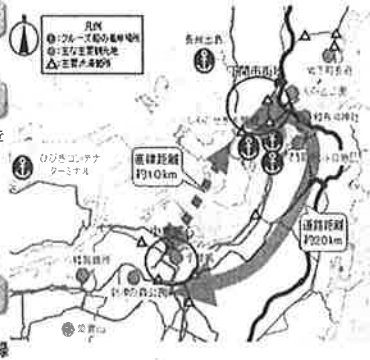
北九州
山口
17.9%

愛知県
13.8%

東京都
9.2%

歴史・文化遺産が多数存在

H29.4には、两市に点在する42点の文化財が『関門』ノスタルジック「海峡」として、日本遺産に登録



两市間移動時の大きな迂回

中心市街地間の移動距離は、直線距離の2倍！

两市を結ぶ道路の慢性的な渋滞

两市を結ぶ経路上で交通が集中！

関門トンネルや関門橋で頻発する通行止め

関門トンネルでは、事故等による通行止めが2日に1回以上発生！

区間	通行止め回数
関門トンネル	427
関門橋	235
1029	207
1030	198
81	195
82	135

・橋 通:533.1(63年経過)
・交通量:238万台/日(R2)

・橋 通:548.1(47年経過)
・交通量:309万台/日(R2)

■ 関門地域のさらなる発展のためには、循環型ネットワークを形成する下関北九州道路の整備が不可欠
■ 近年頻発する大規模災害時にも機能する信頼性の高い道路網を構築する観点からも当該道路の早期整備が必要

塩満久雄県議会の歩み

- 平成八年八月 県議再選挙初当選
- 平成十一年四月 県議選連続当選(二期目)
- 平成十二年四月 県議選連続当選(三期目)
- 平成十一年六月、自由民主党山口県連副幹事長
- 平成十三年五月、自由民主党山口県連副幹事長
- 平成十五年三月、県議選連続当選(三期目)
- 平成十五年五月、山口県建築審査会長
- 山口県議会運営委員長
- 土木建築委員
- 平成十五年六月、県地域経済活性化対策特別委員会副幹事長
- 平成十六年十二月、決算特別委員会委員長(第一回)
- 平成十七年五月、県土木建築委員長(第二回)
- 自由民主党山口県連土木建築部会長
- 山口県建築審査会長
- 山口県地方港湾審議会委員
- 第六十六回国民体育大会山口県準備委員会委員
- 平成十九年三月、県議選連続当選(四期目)
- 平成十九年六月、山口県建築審査会長
- 土木建築委員
- 自由民主党山口県連組織委員長
- 山口県地方議員連盟幹事長
- 自由民主党下関支部長
- 平成十九年十一月、決算特別委員会委員長(第二回)
- 平成二十一年六月、山口県議会自由民主党議員団副会長
- 山口県地方港湾審議会委員
- 山口県くじら議員連盟会長
- 山口県くじら議員連盟副会長
- 山口県下関・北九州道路建設促進議員連盟会長
- 令和元年八月、自由民主党山口県連会長代行
- 山口県議会運営委員長
- 下関市地方港湾審議会委員
- 山口県くじら議員連盟会長
- 山口県下関・北九州道路建設促進議員連盟会長
- その他一般質問二十九回
代表質問 六回